



日本プライマリ・ケア連合学会
四国ブロック支部



発行人：阿波谷敏英,川上和徳
事務局 〒761-2103
香川県綾歌郡綾川町陶 1720-1
綾川町国民健康保険陶病院気付
副支部長/事務局長 川上和徳
Tel. 087-876-1185 Fax. 087-876-3795
E-mail jpocardk@yahoo.co.jp

★ 2024 年度四国ブロック支部新専攻医オリエンテーション&ポートフォリオ発表会の報告

プログラム責任者協議会四国ブロック支部代表

原 穂高 (愛媛生協病院)

2024 年 4 月 20 日、高知 1 名、愛媛 1 名の新専攻医を迎え、現地+オンラインのハイブリッド形式で新専攻医オリエンテーションを開催しました。要望のあった講演を行い、専攻医ポートフォリオ発表会も行いおなかいっぱいの内容でお届けしました。

新専攻医につきましては別ページに自己紹介が載っていますので、そちらを御参照ください。

まず会場をお借りした徳島大学の総合診療医学分野教授の八木先生に開会の挨拶をいただきました。専門研修を修了した HITO 病院の近藤先生からは専攻医部会の紹介とエールが贈られました。日本プライマリ・ケア連合学会理事長草場先生の動画は途中で止まってしまう、というハプニングもありましたが要旨は伝わったと思います。同じく学会の研修担当横谷先生による新家庭医療/総合診療専門研修プログラム解説と Fami-Log、専攻医へのメッセージ動画を視聴しました。

今回からの新企画として記念講演を設けました。神奈川から地元高知に戻り、教育診療所を始めたばかりの西村真紀先生に登壇していただき、家庭医の道を歩むに至った歴史と実践、現在地を語っていただきました。

ポートフォリオ発表会には 2 年目専攻医が臨みました。現在陶病院で研修中の馬越先生は患者中心の医療の領域で、あき総合病院で研修中の長崎先生は EBM の領域で報告しました。それぞれコメンテーターのアドバイスの後、質疑応答が交わされました。



新専攻医 2 名がスライドで自己紹介。2 名とも趣味全開の自己紹介をしてもらえたので、それぞれのひととなり伝わる充実した内容でした。

支部長の阿波谷先生の締め言葉でオリエンテーションをいったん閉会しました。

ひきつづき専攻医、研修医を中心に専攻医交流会が開かれました。直接交流できたことや、研修に必須の Fami-Log が大変など率直な意見交換がなされ盛り上がりしました。

参加者は全体で44名、現地参加24名、オンライン20名。内訳は専攻医5名、初期研修医2名、学生3名、指導医34名でした。



反省点としてオンライン参加のZoom URLが届かないトラブルや、動画再生トラブルなどがありました。オリエンテーションのため専攻医向けの内容ではありますが、指導医にも有意義な内容もほしいとの意見もありました。託児所ができたらいいなあ、と。

参加したみなさま、送り出していただいたみなさま、本当にありがとうございます。来年は香川で開催予定です。新たな専攻医たちを迎え入れられますように。そして現役専攻医たちが笑顔でいられるよう公私ともにサポートしていきましょう。

【新しい専攻医のご紹介】

佐伯 治馬 先生 (社会医療法人石川記念会 HITO 病院)

※お名前、ご所属のご紹介のみです

前田 佳純 先生 (高知県立あき総合病院)

今年度から高知家総合診療・新家庭医療専門研修プログラムを開始しております、卒後3年目の前田佳純と申します。高知県出身で筑波大学に進学し、初期臨床研修から高知県に戻ってきております。高知県立幡多けんみんな病院で初期臨床研修を修了後、4月からは高知県安芸市にある高知県立あき総合病院で勤務させていただいております。

専攻医となって2ヶ月経過しましたが、初期臨床研修の頃とは違って外来診療も始まり、毎日があっという間に過ぎております。指導医や同じ総合診療・新家庭医療専門研修プログラムの専攻医の先輩に教えていただきながら、何とか頑張っているところです。初期臨床研修の頃は、担当患者さんがこのまま家に帰って大丈夫

かどうか、病院外で何か工夫できる面はないか、気になってもなかなか自分で行動に移すことは難しかったです。専攻医となつてからは自分自身でも考え、ソーシャルワーカーさんや指導医の先生方にアドバイスを頂きながら試行錯誤できることが、大変でもあり楽しくも感じております。

患者さんまるごとを診られるような医師になることが目標です。地域で患者さんやご家族の「困った」に応えられるような医師になるべく、これから精進して参りますのでよろしくお願ひいたします。



★ 第22回愛媛プライマリ・ケア研究会

愛媛県支部長 川本龍一

(愛媛大学大学院医学系研究科地域医療学講座
/西予市地域サテライトセンター)

近年、地域社会における課題として挙げられるべき地の人口減少や高齢化がますます深刻化しています。これに伴い、医療の効率化や機能分担、そして連携活動の重要性が一層高まっています。愛媛県の各市町村においても、こうした課題に直面していることは皆さんもよくご存じのことと思います。このような背景を踏まえ、地域の未来を見据え、医療に関する新たな展望を模索する講演会を企画しました。

前半の指定講演では、西予市の連携の取り組みについて西予市立野村病院地域連携室の吉見達雄氏にお話いただき、後半の特別講演では、これからの地域医療のあり方について、地域医療連携推進法人県北西部地域医療ネット代表理事である後藤忠雄先生に先進的な取り組みを講演いただきました。

後藤先生は1989年に自治医科大学を卒業され、2年間の初期研修後、22年間岐阜県和良村にある和良病院にて地域医療に従事されました。自らの勤務する地域の市町村合併を経験し、2007年に複数の医師でへき地診療所を管理運営する「郡上市地域医療センター」

(2016年から県北西部地域医療センターへ拡大)を立ち上げられました。その後、2015年に同センター基幹病院となる白鳥病院院長に就任されました。隣接する高山市や白川村の診療所も同センターに組み込み、特定の医師の「犠牲」により成り立つ地域医療のあり方を変えようと挑戦していることについて、お話をわかりやすくしていただきました。これからの地域医療のあり方について参考になる取り組みで、我々も非常に勉強になりました。



★ 四国ブロック支部役員会を開催しました

四国ブロック支部長 阿波谷敏英
(高知大学医学部家庭医療学講座)

2024年4月20日の新専攻医オリエンテーション・ポートフォリオ発表会に引き続き、徳島大学病院日垂メディカルホールをお借りし、四国ブロック支部役員会をハイブリッド開催しました。

昨秋の代議員改選にともない、四国ブロック支部の役員も変更になりました(新しいメンバーは[ニュースレターNo. 45](#)をご参照ください)。初めてご参加いただく方もおいでましたので27名の出席者全員が一言ずつ自己紹介、近況報告などをおこないました。今回、徳島、香川、高知の県支部長の交代がありました。今回、あらたに県支部長になった先生方を四国ブロック副支部長に指名させていただきました。一緒に、四国ブロック支部を盛り上げていければと思っております。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

支部長	阿波谷 敏英	高知大学医学部家庭医療学講座
副支部長	大倉 佳宏	健生石井クリニック
	川本 龍一	愛媛大学大学院医学系研究科地域医療学講座
	西村 真紀	やまと診療所高知
	原 穂高	愛媛生協病院
副支部長 兼 事務局長	川上 和徳	綾川町国民健康保険陶病院
監事	横井 徹	横井内科医院
	中津 守人	三豊総合病院

議事では、2023年度事業報告および会計報告、2024年度事業計画および予算、支部役員会の旅費規程の審議が行われました。また、地方会およびポートフォリオの担当県、地方会開催マニュアル、ブロック支部会誌、ニュースレターの編集方針等について活発に意見交換がおこなわれました。

四国ブロック支部の会計は非常に健全で、会場費のかからない会場やオンラインでの地方会の開催が続いており、累積黒字が300万円を超えています。ぜひ、有効に活用したいと考えています。特に、学生、研修医、専攻医などの若手に届くような活動をブロック支部としても展開できればと思っております。

